

SEPTEMBER 1992 VOL.53

# ARAI NEWS



開幕5連勝とブツギリのスタートを切ったナイジェル・マンセルは、**ARAI**を使用する数多くのF-1ドライバーの中でも、最も**ARAI**を気に入っている選手の一人です。先頃、衛星放送のマンセル特集を見ていたら、まったく予告なしに**ARAI**を取り上げ絶賛してくれたので、それを見た**ARAI**スタッフが驚いた程です。まだ知名度の低かった1984年から一貫して**ARAI**を使用し続けているからかもしれません。

★

現在マンセルが使用しているのは、まもなく市販を予定している通称GP-3というF-1専用のモデルです。F-1では、体をシートベルトで縛り付け、顔だけを上に出し、高速で周回するため、高速域での空力特性は重要です。GP-3は高速域で顔を振れないように、あくまでコンパクトに、そして前頭部を若干スラントさせ、抜群の高速安定性を保つべく設計されています。TV中継の車載カメラを注意深くみると、ストレートエンドなどで、ヘルメットの振れ方で、**ARAI**と他の差がわかることがありますので、試しに見て下さい。

また、レース中には、真後ろのエンジンの熱気と運動量の激しさで、ヘルメット内部は、50°~60°へも達するために、頭頂部にエアインテークとエアアウトレットを設け、ヘルメット内部の換気を良くし、冷却に努めています。もちろんシールドは、前車の跳ね上げる石にもビクともしない3mm厚のGP-2シールド。内装は特殊不燃性布地で作られています。

★

以上のように、マンセルのヘルメットは、F-1という特殊な条件の上に生まれたものですが、それ以外の基本的な部分は、市販させていたでいる2輪用ヘルメットと同一です。例えば、帽体はRX-7用やスーパーVで使用しているsuperCLC製法で作られています。F-1ドライバーが最も要求する項目は“軽さ”です。その軽さと安全性を両立させたsuperCLC製法は、ヘルメットに要求される安全性を高めた中では最も軽質な帽体を作り出す製法です。実は、このsuperCLC製法も、F-1ドライバーの要求を満たすために生まれたものなのです。経術体もリッターあたり34

gの市販品と同じ安全設計。かぶり心地に関しても基本的には、GIGA2やアストロと同一です。マンセルの場合は、顔部は輸出向けのMサイズ。頬部は、25mmのものを使用しています。市販品の技術がそのままF-1ドライバーの頭に生きているのです。

★

ところで、F-1の世界もここ2~3年で、ヘルメットでも莫大な契約金を用意して選手にアプローチをかけてくるメーカーも出てきました。身を守るヘルメットこそ、技術優先で選んで貰いたいものなのに、嘆かわしい事です。マンセル程の大家になれば当然誘いもあったことでしょうか、ヘルメットは**ARAI**に決めているから心配ないと、いつでも言ってくれます。ヘルメットの契約金よりも、ヘルメットには何の心配をすることもなくレースだけに集中しようという、本当のプロフェッショナルドライバーの証しともいえます。ぜひチャンピオンを取っていただきたいものです。みなさんも応援して下さい。

## ナイジェル・マンセルのヘルメット

(株)アライヘルメット  
〒330 埼玉県大宮市東町2-12  
TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。  
製品の事なら、お気軽に上相談ください。  
直通 TEL(048)645-7661